

# 知って備える 防災メモ

第44回



## 大雨による災害から身を守るために

胆振・日高地方は、8月と9月の降水量が多く、大雨に気を付けなければいけない時期です。

特に、9月は竜巻の発生回数が多いなど、大気の状態が不安定で、発達した積乱雲による局地的な大雨が降りやすい月です。北海道で初めてとなった胆振地方の大雨特別警報も平成26年9月に発表されています。気象台から注意報や警報が発表されたら、雨の降り方などの情報収集や避難準備を行いましょ。

また、危ないと思ったときには建物の2階に上がるなど、自主的に安全な場所へ避難し、命を守る最善の行動を取ってください。

『のぼりべつ防災タウンページ』を活用しましょ

大雨に伴う災害から身を守るためには、状況や場所にに応じてどのような行動をとるべきかあらかじめ知っておく必要があります。普段から、

『のぼりべつ防災タウンページ』で、水害や土砂災害など、居住地域の危険性を把握し、最寄りの避難場所がどこにあるのか確認しておくことが必要です。家族がバラバラに行動しているときは、互いの連絡方法や連絡が取れない場合の集合場所を決めておくことも重要です。『のぼりべつ防災タウンページ』には家族の情報や連絡先を記載できるページもあります。ぜひ活用してください。



▲市民便利帳



▲7月上旬に『市民便利帳』とも『電各話帳』の合冊版(右)と『のぼりべつ防災タウンページ』の別冊版(左)を家庭に配布された。

▼問い合わせ  
総務グループ

(☎<sup>85</sup>1130)

人が輝き まちがとぎめく

# 仲間たち

Group

## 水彩画サークルフレンド

『水彩画サークルフレンド』は、婦人サークルで知り合った方が集まり、平成14年に発足したサークルで、今年で15年目を迎えます。現在、メンバーは60代から80代までの女性10人。毎月第2・第4金曜日の13時から16時まで若草つどいセンターで活動しています。

「『みんなで楽しく絵を描く』をコンセプトに作品作りに取り組んでいます。足腰が弱くなっても、自宅などで描くことができるのが魅力ですね。絵を描いているときはリラックスできますし、家事などを忘れて夢中になれる大切な時間です」と話すのは代表の田中千鶴子(ちかづこ)さん。同じ景色や物を描いても、一



メンバーそれぞれの『自分らしさ』を大切に水彩画を描いています



▲メンバー同士仲が良く、温かい雰囲気の中で水彩画を描いている

4年前に入会した工藤久枝(くとうひさえ)さんは、「家にいることが多かった私を近所の方がこのサークルに誘ってくれました。メンバーの皆さんは絵や色使いが上手で、とても勉強になります。これからも皆さんと一緒に楽しく描いていきたいです」と話してくれました。

同サークルの見学や活動に関する問い合わせは、田中さん(☎<sup>86</sup>0750)まで。